

金沢大学入試問題2003

1 [2003 金沢大]

関数 $f(\theta) = \sin \theta + \cos \theta + 2\sqrt{2} \sin \theta \cos \theta$ ($0^\circ \leq \theta < 360^\circ$) について

- $t = \sin \theta + \cos \theta$ とおくと、 $f(\theta)$ を t で表せ。また、 t のとりうる値の範囲を求めよ。
- $f(\theta) = 0$ を満たす θ の値をすべて求めよ。
- $f(\theta) = a$ を満たす θ がちょうど2個となるような定数 a の値の範囲を求めよ。

(1) $\sin \theta + \cos \theta = t$ から $1 + 2\sin \theta \cos \theta = t^2$
 ゆえに $f(\theta) = t + \sqrt{2}(t^2 - 1) = \sqrt{2}t^2 + t - \sqrt{2}$
 $t = \sqrt{2} \sin(\theta + 45^\circ)$, $45^\circ \leq \theta + 45^\circ < 405^\circ$ から $-\sqrt{2} \leq t \leq \sqrt{2}$

(2) $\sqrt{2}t^2 + t - \sqrt{2} = 0$ から $(\sqrt{2}t - 1)(t + \sqrt{2}) = 0$

ゆえに $t = \frac{1}{\sqrt{2}}$, $-\sqrt{2}$

$t = \frac{1}{\sqrt{2}}$ のとき $\sin(\theta + 45^\circ) = \frac{1}{2}$

$45^\circ \leq \theta + 45^\circ < 405^\circ$ から $\theta + 45^\circ = 150^\circ, 390^\circ$
 よって $\theta = 105^\circ, 345^\circ$

$t = -\sqrt{2}$ のとき $\sin(\theta + 45^\circ) = -1$

$45^\circ \leq \theta + 45^\circ < 405^\circ$ から $\theta + 45^\circ = 270^\circ$
 よって $\theta = 225^\circ$

ゆえに $\theta = 105^\circ, 225^\circ, 345^\circ$

(3) $f(\theta) = g(t)$ とおくと

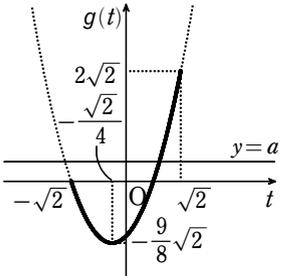
$$g(t) = \sqrt{2} \left(t + \frac{\sqrt{2}}{4} \right)^2 - \frac{9}{8} \sqrt{2}$$

$(-\sqrt{2} \leq t \leq \sqrt{2})$

ここで、 $t = \sqrt{2} \sin(\theta + 45^\circ)$ あるから、
 $-\sqrt{2} < k < \sqrt{2}$ のとき、 $t = k$ となる θ は2つ存在し、
 $k = \pm\sqrt{2}$ のとき、 $t = k$ となる θ は1つ存在する。

よって、右図から、条件を満たす a の値の範囲は

$$a = -\frac{9}{8} \sqrt{2}, 0 < a < 2\sqrt{2}$$



2 [2003 金沢大]

数列 $\{a_n\}$ が $a_1 = -4, a_{n+1} = 2a_n + 2^{n+3}n - 13 \cdot 2^{n+1}$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) により定められている。

- $b_n = \frac{a_n}{2^n}$ とおくと、 b_n と b_{n+1} の満たす関係式を導き、 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。
- $a_n > a_{n+1}$ となるような n の値をすべて求めよ。
- a_n が最小となるような n の値をすべて求めよ。

(1) $a_{n+1} = 2a_n + 2^{n+3}n - 13 \cdot 2^{n+1}$ の両辺を 2^{n+1} で割ると $\frac{a_{n+1}}{2^{n+1}} = \frac{a_n}{2^n} + 4n - 13$

$b_n = \frac{a_n}{2^n}$ であるから $b_{n+1} = b_n + 4n - 13$ すなわち $b_{n+1} - b_n = 4n - 13$

$$n \geq 2 \text{ のとき } b_n = b_1 + \sum_{k=1}^{n-1} (4k - 13) = \frac{a_1}{2} + 2(n-1)n - 13(n-1)$$

$$= -2 + 2n^2 - 2n - 13n + 13 = 2n^2 - 15n + 11 \dots\dots \textcircled{1}$$

$n = 1$ のとき $b_1 = -2$ となり、 $\textcircled{1}$ を満たす。

したがって $a_n = 2^n b_n = 2^n(2n^2 - 15n + 11)$

(2) $a_n > a_{n+1}$ から $2^n(2n^2 - 15n + 11) > 2^{n+1}\{2(n+1)^2 - 15(n+1) + 11\}$

$2^n > 0$ であるから $2n^2 - 15n + 11 > 2(2n^2 - 11n - 2)$

整理すると $2n^2 - 7n - 15 < 0$ ゆえに $(2n+3)(n-5) < 0$

よって $-\frac{3}{2} < n < 5$ n は自然数であるから $n = 1, 2, 3, 4$

(3) (2) から、 $1 \leq n \leq 4$ のとき $a_n > a_{n+1}$,

$n = 5$ のとき $a_n = a_{n+1}$,

$6 \leq n$ のとき $a_n < a_{n+1}$

ゆえに $a_1 > a_2 > a_3 > a_4 > a_5 = a_6 < a_7 < a_8 < \dots$

よって、 $n = 5, 6$ のとき最小となる。

3 [2003 金沢大]

数列 $\{a_n\}$ が $a_1 = 36, a_{n+1} = 2a_n + 2^{n+3}n - 17 \cdot 2^{n+1}$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) により定められている。

- $b_n = \frac{a_n}{2^n}$ とおくと、 b_n と b_{n+1} の満たす関係式を導き、 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。
- $a_n > a_{n+1}$ となるような n の値の範囲、および a_n が最小となるような n の値を求めよ。
- $S_n = a_1 + a_2 + \dots + a_n$ とおくと、 S_n が最小となるような n の値をすべて求めよ。

(1) $a_{n+1} = 2a_n + 2^{n+3}n - 17 \cdot 2^{n+1}$ の両辺を 2^{n+1} で割ると $\frac{a_{n+1}}{2^{n+1}} = \frac{a_n}{2^n} + 4n - 17$

$b_n = \frac{a_n}{2^n}$ であるから $b_{n+1} = b_n + 4n - 17$ すなわち $b_{n+1} - b_n = 4n - 17$

$$n \geq 2 \text{ のとき } b_n = b_1 + \sum_{k=1}^{n-1} (4k - 17) = \frac{a_1}{2} + 2(n-1)n - 17(n-1)$$

$$= 18 + 2n^2 - 2n - 17n + 17 = 2n^2 - 19n + 35 \dots\dots \textcircled{1}$$

$n = 1$ のとき $b_1 = \frac{a_1}{2} = 18$ となり、 $\textcircled{1}$ を満たす。

したがって $a_n = 2^n b_n = 2^n(2n^2 - 19n + 35) = 2^n(n-7)(2n-5)$

(2) $a_n > a_{n+1}$ から $2^n(2n^2 - 19n + 35) > 2^{n+1}\{2(n+1)^2 - 19(n+1) + 35\}$

$2^n > 0$ であるから $2n^2 - 19n + 35 > 2(2n^2 - 15n + 18)$

整理すると $2n^2 - 11n + 1 < 0$ よって $n(2n-11) < -1$

n は自然数であるから $n = 1, 2, 3, 4, 5$

ゆえに、 $1 \leq n \leq 5$ のとき $a_n > a_{n+1}$,

$6 \leq n$ のとき $a_n < a_{n+1}$

よって $a_1 > a_2 > a_3 > a_4 > a_5 > a_6 < a_7 < a_8 < a_9 < \dots$

したがって、 a_n が最小となる n の値は $n = 6$

(3) $a_n \leq 0$ とすると $2^n(n-7)(2n-5) \leq 0$ $2^n > 0$ であるから $\frac{5}{2} \leq n \leq 7$

n は自然数であるから $n = 3, 4, 5, 6, 7$

ゆえに $n = 1, 2$ のとき $a_n > 0$,

$3 \leq n \leq 6$ のとき $a_n < 0$,

$n = 7$ のとき $a_n = 0$,

$8 \leq n$ のとき $a_n > 0$

したがって $S_1 < S_2 > S_3 > S_4 > S_5 > S_6 = S_7 < S_8 < \dots$

また $S_6 = a_1 + a_2 + a_3 + a_4 + a_5 + a_6$

$$< a_1 + a_2 + a_3 = a_1 + 20 - 32$$

$$< a_1 = S_1$$

よって、 S_n を最小とする n の値は $n = 6, 7$

金沢大学入試問題2003

4 [2003 金沢大]

x の3次関数 $f(x) = x^3 - kx^2 + 4k$ について

- $x \geq 0$ のとき常に $f(x) \geq 0$ となるような定数 k の値の範囲を求めよ。
- $y = f(x)$ のグラフが k の値によらずに通る2つの点 $A(a, f(a))$, $B(b, f(b))$ ($a < b$) を求めよ。更に、 $a < x < b$ のとき常に $y = f(x)$ のグラフが線分 AB よりも上にあるような定数 k の値の範囲を求めよ。

- (1) $f(0) \geq 0$ であるから $k \geq 0$ であることが必要。

$$f(x) = x^3 - kx^2 + 4k,$$

$$f'(x) = 3x^2 - 2kx = 3x\left(x - \frac{2}{3}k\right)$$

- [1] $k = 0$ のとき

$$f(x) = x^3 \text{ となり適する.}$$

- [2] $k > 0$ のとき

x	0	...	$\frac{2}{3}k$...
$f'(x)$		-	0	+
$f(x)$		↘	極小	↗

$$f\left(\frac{2}{3}k\right) \geq 0 \text{ から } \frac{8}{27}k^3 - \frac{4}{9}k^3 + 4k \geq 0$$

$$k > 0 \text{ であるから } k^2 \leq 27$$

$$\text{ゆえに } 0 < k \leq 3\sqrt{3}$$

以上をまとめると $0 \leq k \leq 3\sqrt{3}$

- (2) $y = x^3 - kx^2 + 4k$ とおくと $(x^2 - 4)k + y - x^3 = 0$

これが k の恒等式であるから $x^2 - 4 = 0$, $y - x^3 = 0$

よって $x = \pm 2$, $y = \pm 8$ (複号同順)

$a < b$ であるから $A(-2, -8)$, $B(2, 8)$ となる。

このとき、線分 AB は $y = 4x$ ($-2 \leq x \leq 2$) となる。

$$\begin{aligned} x^3 - kx^2 + 4k - 4x &= x(x^2 - 4) - k(x^2 - 4) \\ &= (x+2)(x-2)(x-k) \end{aligned}$$

が $-2 < x < 2$ において常に正となるから $k \geq 2$

5 [2003 金沢大]

定積分 $\int_{-1}^1 \frac{1}{2}(ax+b)^2 dx$ を $I(a, b)$ とおく。

- $I(a, b)$ を a, b の多項式で表せ。
- $b = a + 1$ のとき、 $I(a, b)$ が最小となるような a およびそのときの $I(a, b)$ の値を求めよ。
- $I(a, b) = 1$ かつ $b = ma + n$ となる (a, b) がちょうど1組のとき、実数 m, n の満たす条件を求めよ。

$$(1) I(a, b) = \int_0^1 (a^2x^2 + b^2)x dx = \left[\frac{1}{3}a^2x^3 + b^2x \right]_0^1 = \frac{1}{3}a^2 + b^2$$

$$(2) b = a + 1 \text{ であるから } I(a, b) = \frac{1}{3}a^2 + (a+1)^2 = \frac{4}{3}a^2 + 2a + 1 = \frac{4}{3}\left(a + \frac{3}{4}\right)^2 + \frac{1}{4}$$

よって、 $a = -\frac{3}{4}$ のとき最小値 $\frac{1}{4}$ をとる。

$$(3) \frac{1}{3}a^2 + b^2 = 1 \text{ かつ } b = ma + n \text{ から } a^2 + 3(ma + n)^2 - 3 = 0$$

$$\text{すなわち } (3m^2 + 1)a^2 + 6mna + 3(n^2 - 1) = 0 \dots\dots \textcircled{1}$$

$3m^2 + 1 > 0$ であるから、 $\textcircled{1}$ は a についての2次方程式である。

$\textcircled{1}$ の判別式を D とすると、解を1つだけもつことから $D = 0$

$$\text{よって } \frac{D}{4} = 9m^2n^2 - 3(3m^2 + 1)(n^2 - 1) = 0$$

$$\text{したがって } 3m^2 - n^2 + 1 = 0$$

6 [2003 金沢大]

- (1) 次の(ア), (イ)のグラフの概形を別々にかけ。

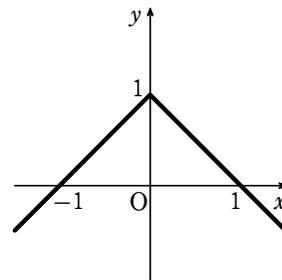
(ア) $y = 1 - |x|$

(イ) $y = \frac{1}{1 + |x|}$

- (2) 区間 $-1 \leq x \leq 1$ において、不等式 $(ax+b)(1-x^2) \leq 1 - |x|$ が成り立つとき、定数 a, b の満たす条件を求めよ。

- (3) a, b が(2)で求めた条件を満たすとき、区間 $-1 \leq x \leq 1$ で $y = 1 - |x|$ と $y = (ax+b)(1-x^2)$ のグラフによって囲まれた図形の面積を求めよ。

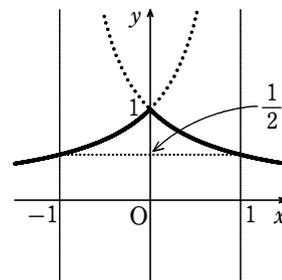
- (1) (ア) $x \geq 0$ のとき $y = 1 - x$,
 $x < 0$ のとき $y = 1 + x$
 よって、グラフの概形は右図のようになる。



(イ) $x \geq 0$ のとき $y = \frac{1}{1+x}$,

$x < 0$ のとき $y = \frac{1}{1-x}$

よって、グラフの概形は右図のようになる。



- (2) $|x|^2 = x^2$ であるから $(ax+b)(1-|x|^2) \leq 1 - |x|$

ゆえに $(ax+b)(1+|x|)(1-|x|) \leq 1 - |x|$

$|x| = 1$ のとき、等号が成り立つ。

$|x| < 1$ のとき、 $0 < 1 - |x|^2 \leq 1$ から $ax + b \leq \frac{1}{1 + |x|}$

よって、 $-1 < x < 1$ のとき、直線 $y = ax + b$ が曲線 $y = \frac{1}{1 + |x|}$ の下側にあればよい。

すなわち、 $f(x) = ax + b$ とおいたとき、 $f(-1) \leq \frac{1}{2}$ かつ $f(1) \leq \frac{1}{2}$ が成り立てばよい。

い。したがって $b - a \leq \frac{1}{2}$ かつ $b + a \leq \frac{1}{2}$

- (3) (2)から、求める面積は

$$\begin{aligned} &\int_{-1}^1 \{(1 - |x|) - (ax + b)(1 - x^2)\} dx \\ &= \int_{-1}^1 (1 - |x| - ax + ax^3 - b + bx^2) dx \\ &= 2 \int_0^1 (1 - x - b + bx^2) dx \end{aligned}$$

$$= 2 \left[x - \frac{x^2}{2} - bx + \frac{b}{3} x^3 \right]_0^1$$
$$= 1 - \frac{4}{3} b$$